



各 位

平成 29 年 12 月 27 日

会 社 名 ナビタス株式会社
代 表 者 代表取締役社長 辻谷潤一
(JASDAQ コード番号 6276)
問 合 せ 先 執行役員管理本部長 眞柄光孝
電 話 番 号 (0 7 2) 2 4 4 - 1 2 3 1

中期経営計画提出に関するお知らせ

当社は、「目標 2020 年度（2021 年 3 月期）ナビタスグループ安定成長」を目指したナビタスグループ中期経営計画を策定しましたので、当該中期経営計画を記載した資料を提出いたします。

なお、当該資料について、当社のホームページに掲載いたします。

URL <http://www.navitas.co.jp/>
掲載日 平成 29 年 12 月 27 日

【添付資料】
「ナビタスグループ中期経営計画」

ナビタスグループ 中期経営計画

目標2020年度(2021年3月期)
ナビタスグループ安定成長

2017年12月
ナビタス株式会社



目次

I. ナビタスグループの紹介

II. ナビタスグループ業績推移

- これまでの7年間

III. 中期経営計画

IV. 事業別戦略

(1) 装置事業

(2) 商品事業

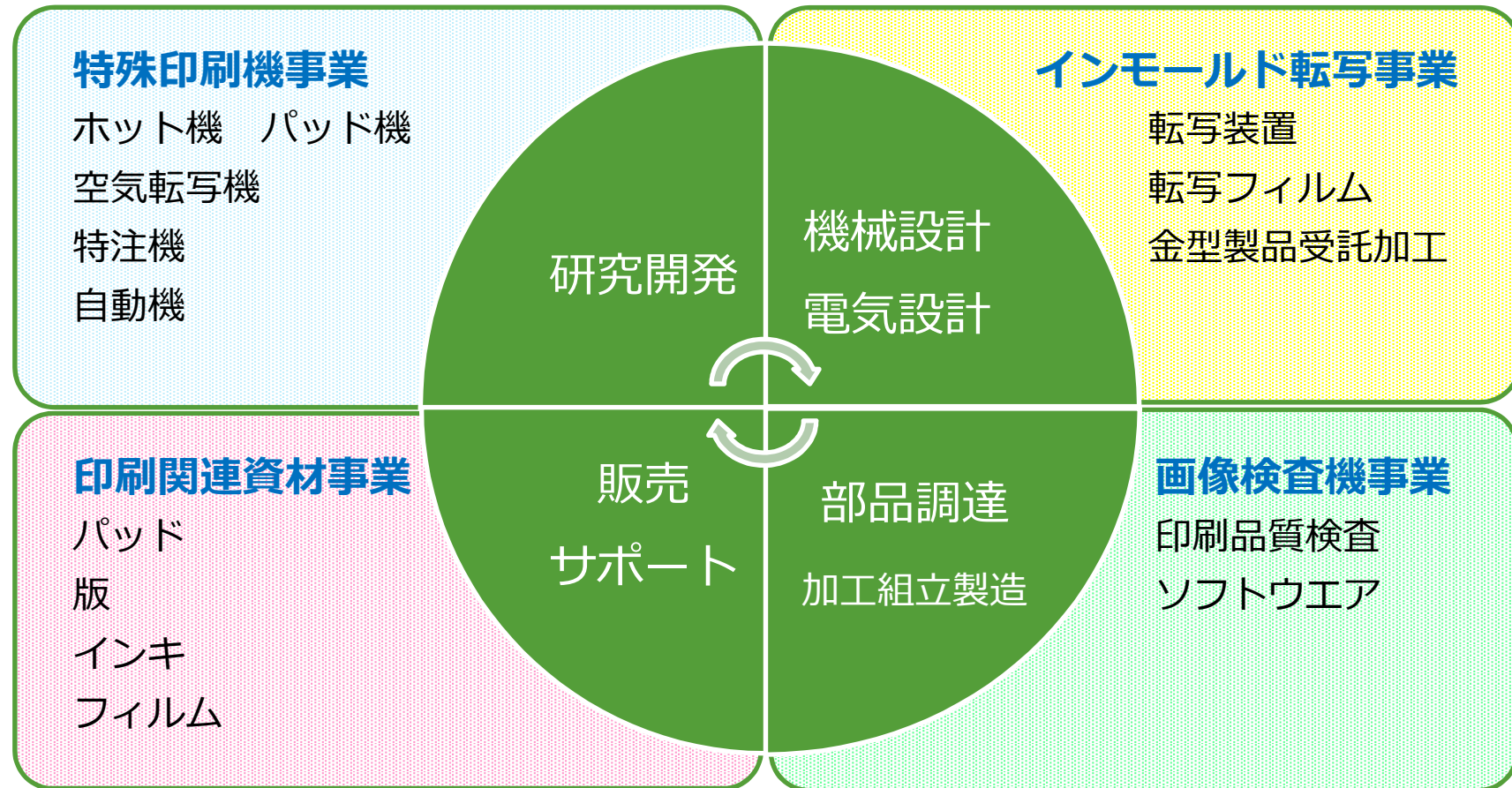
(3) 検査機事業

(4) 空気転写機 (NATS) 事業

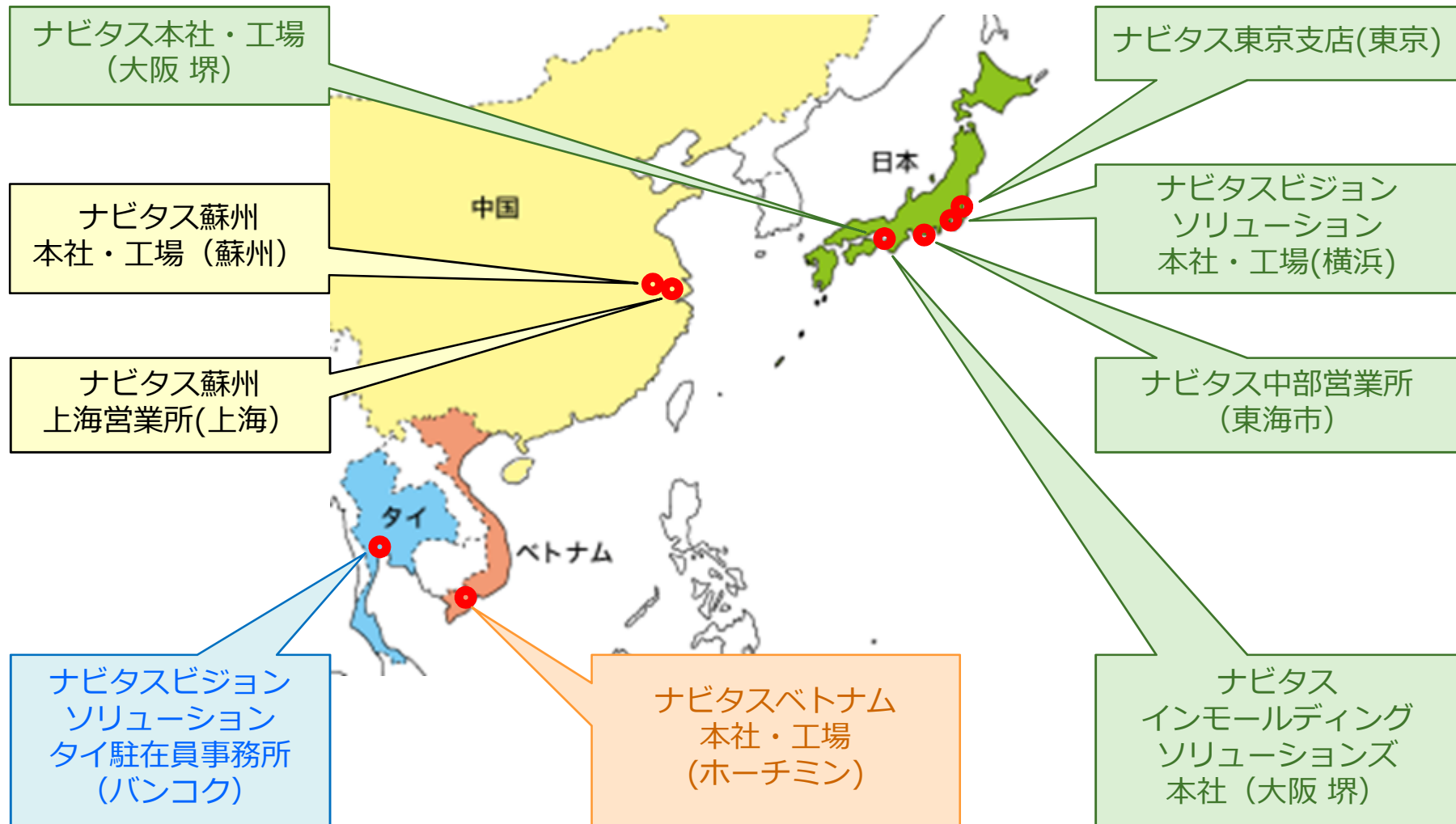
V. 株式対策

I.ナビタスグループの紹介

ナビタスグループの主要事業



ナビタスグループの国内外拠点マップ



ナビタスグループの国内外拠点(1/2)

1. ナビタス(株)

- 本社・工場：大阪府堺市 = 研究開発、設計、製作、販売、顧客支援
- 東京支店：東京都 = 販売、顧客支援
- 中部営業所：愛知県東海市 = 販売、顧客支援

2. 5つの関連会社

- ナビタスインモールディングソリューションズ(株) = NIS

- 本社：大阪府堺市
- 事業：インモールド転写機・転写フィルム開発、販売、顧客支援、
金型製品受託加工

- ナビタスビジョンソリューション(株) = NVS

- 本社：神奈川県横浜市
サポートセンター：大阪府堺市
タイ駐在員事務所：タイ バンコク市
- 事業：画像検査機および画像処理ソフトウェアの
研究開発、設計、製作、販売、顧客支援

ナビタスグループの国内外拠点(2/2)

– ナビタス蘇州有限公司

- 本社：中国蘇州市、営業所：中国上海市
- 事業：ホットスタンプ機的设计、製作、販売、顧客支援
空気転写機の販売、顧客支援
印刷関連資材の販売、各種装置販売

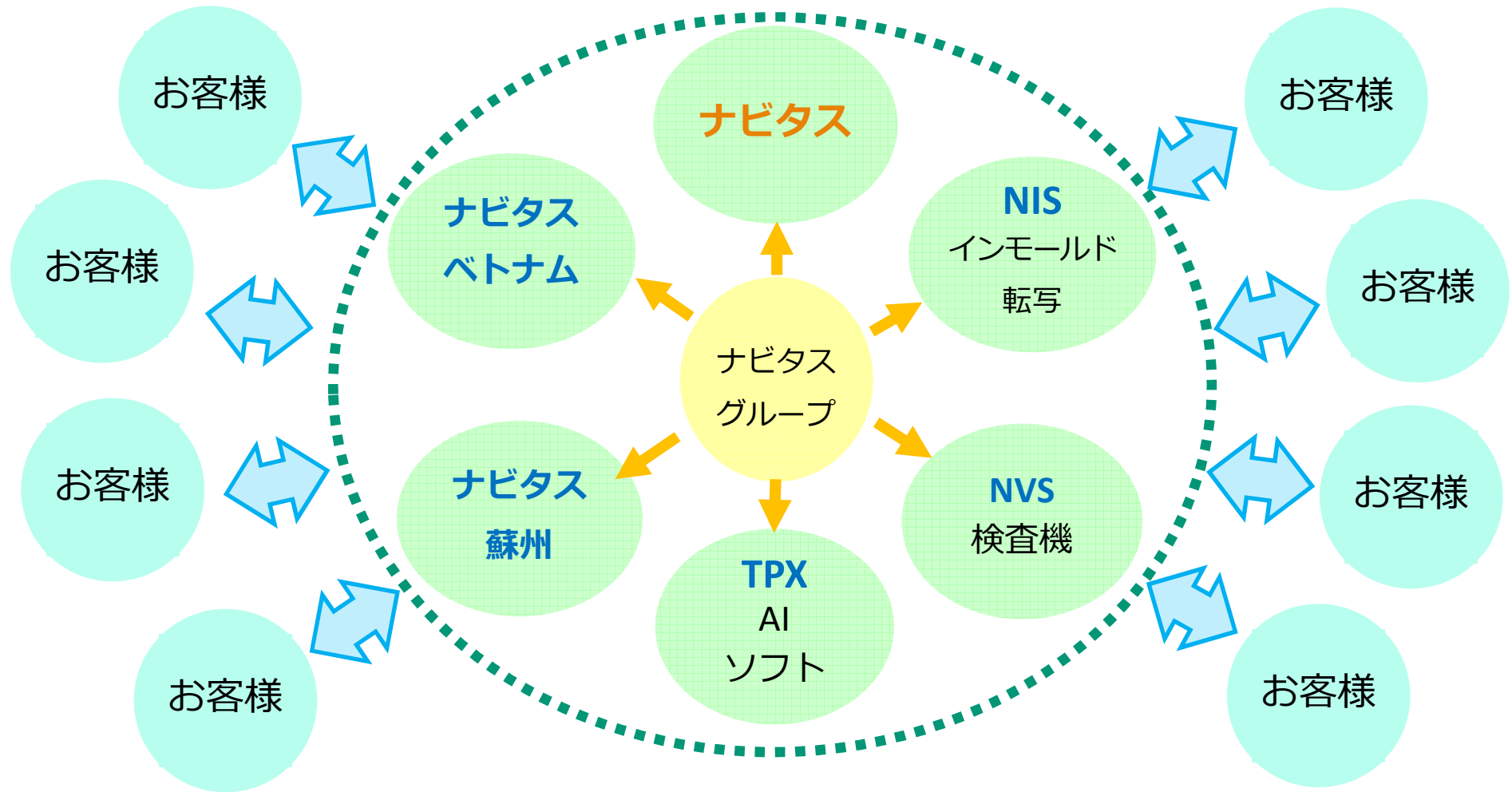
– ナビタスベトナム(株)

- 本社：ベトナムホーチミン市
- 事業：パッド印刷関連資材の製作、販売、顧客支援

– タクトピクセル(株)=TPX ⇒ 2018年1月設立

- 本社：神奈川県横浜市
- 事業：AIなど先進技術を活用したソフトウェアパッケージの研究、設計、開発、販売、顧客支援

ナビタスとナビタスグループ会社



Ⅱ.ナビタスグループ業績推移

自 2011年3月期（第32期）

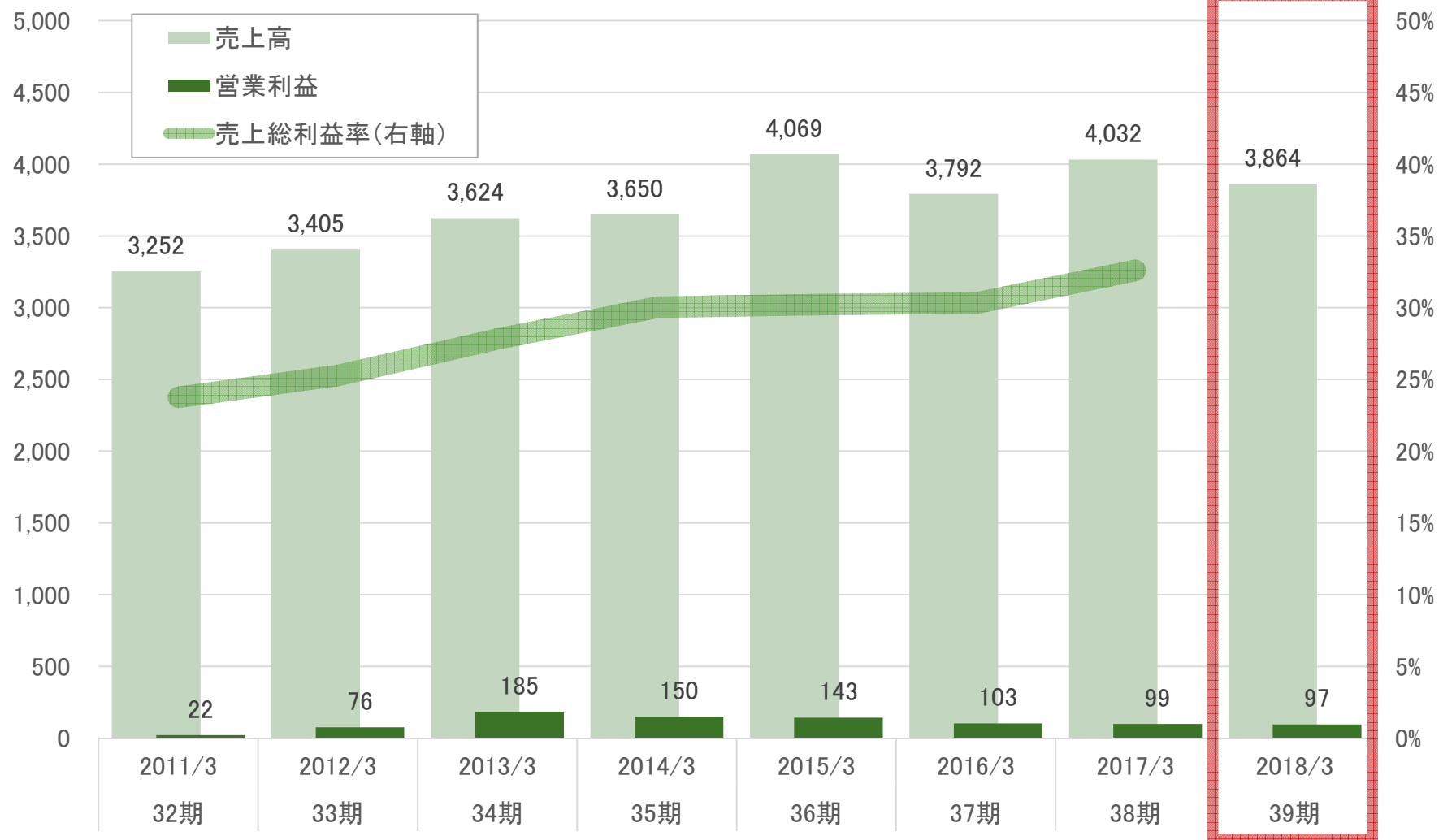
至 2018年3月期（第39期）

(1) 連結業績推移

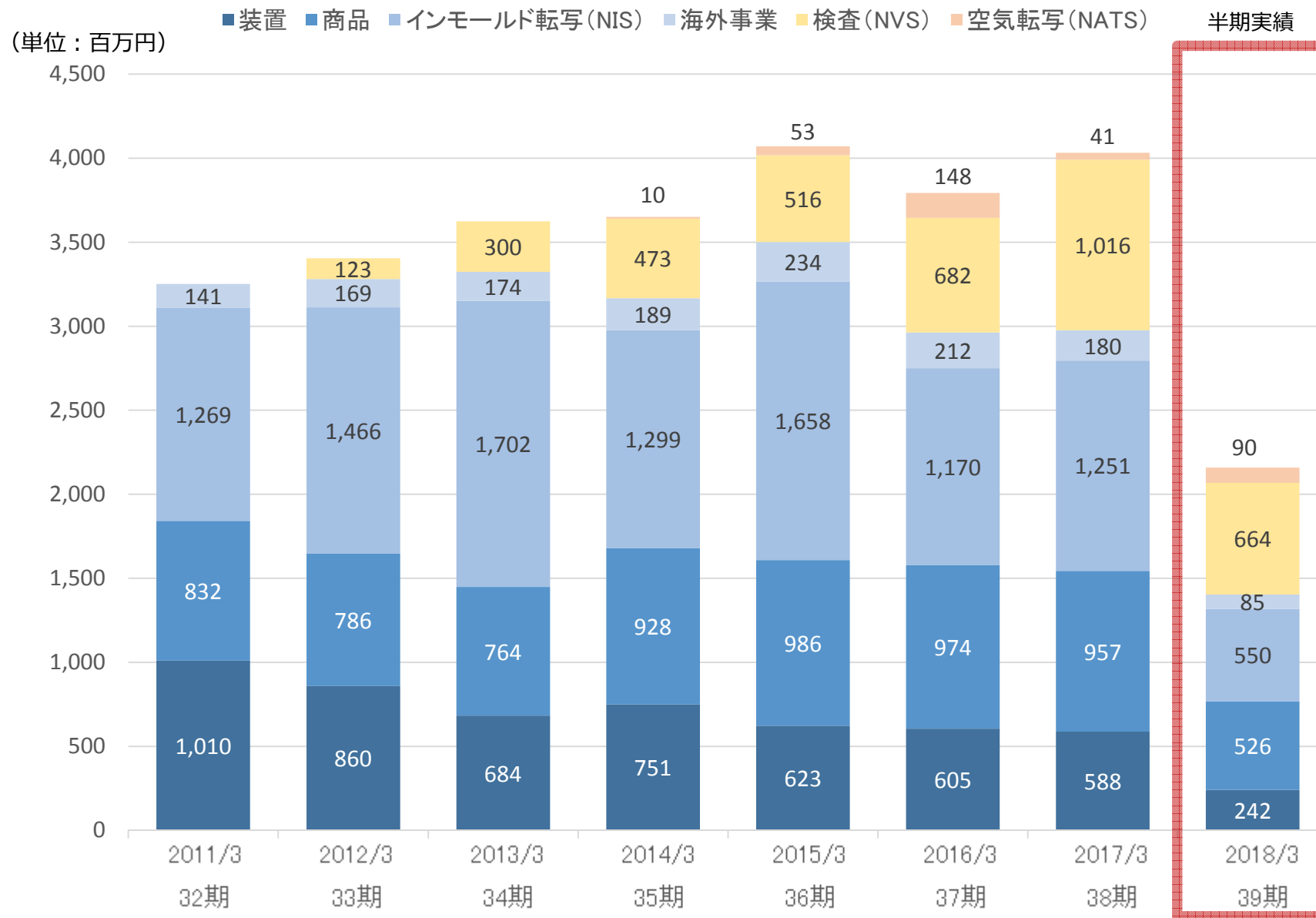
(単位：百万円)

売上・営業利益・利益率

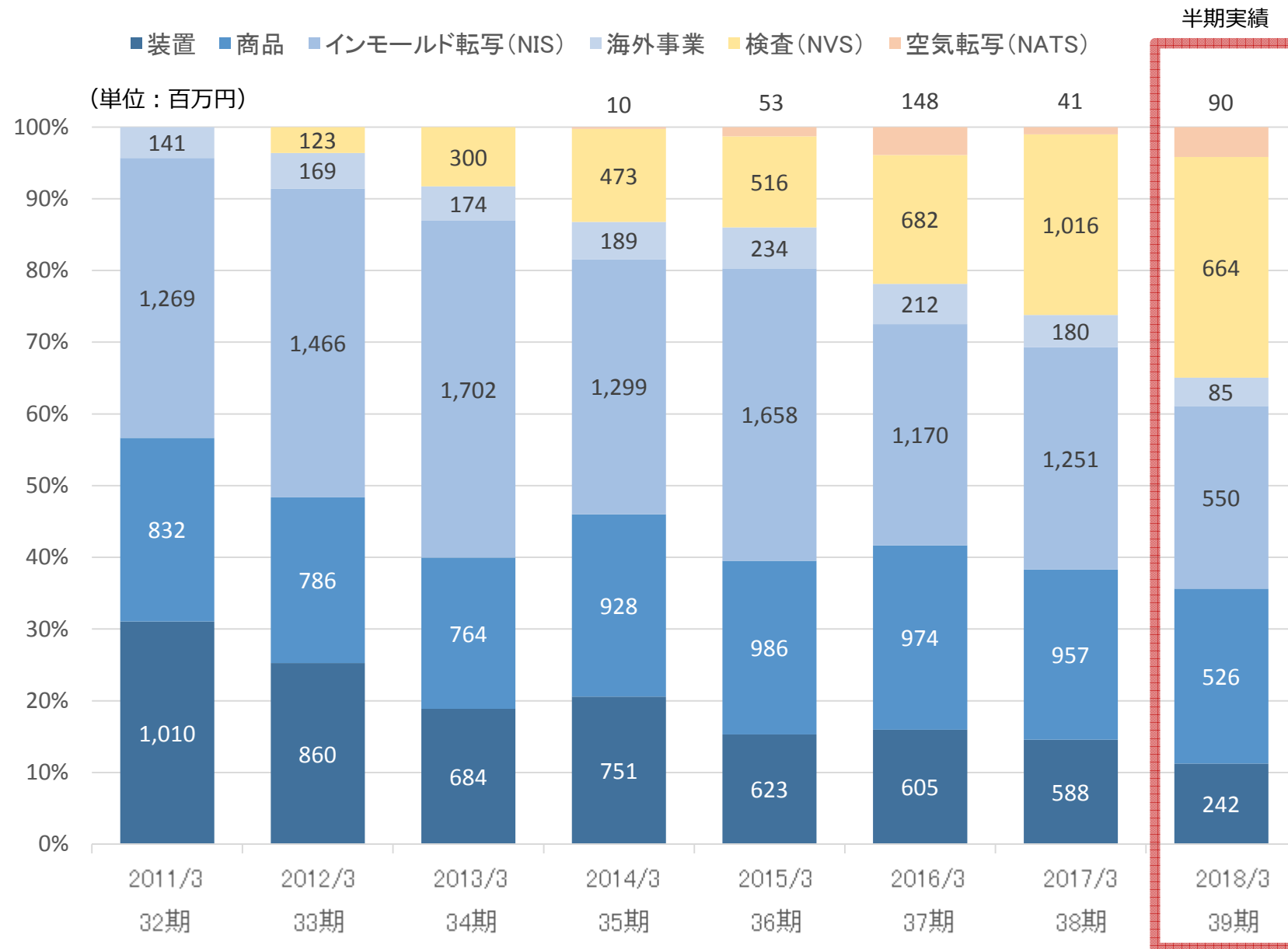
今期予算



(2) セグメント別売上推移



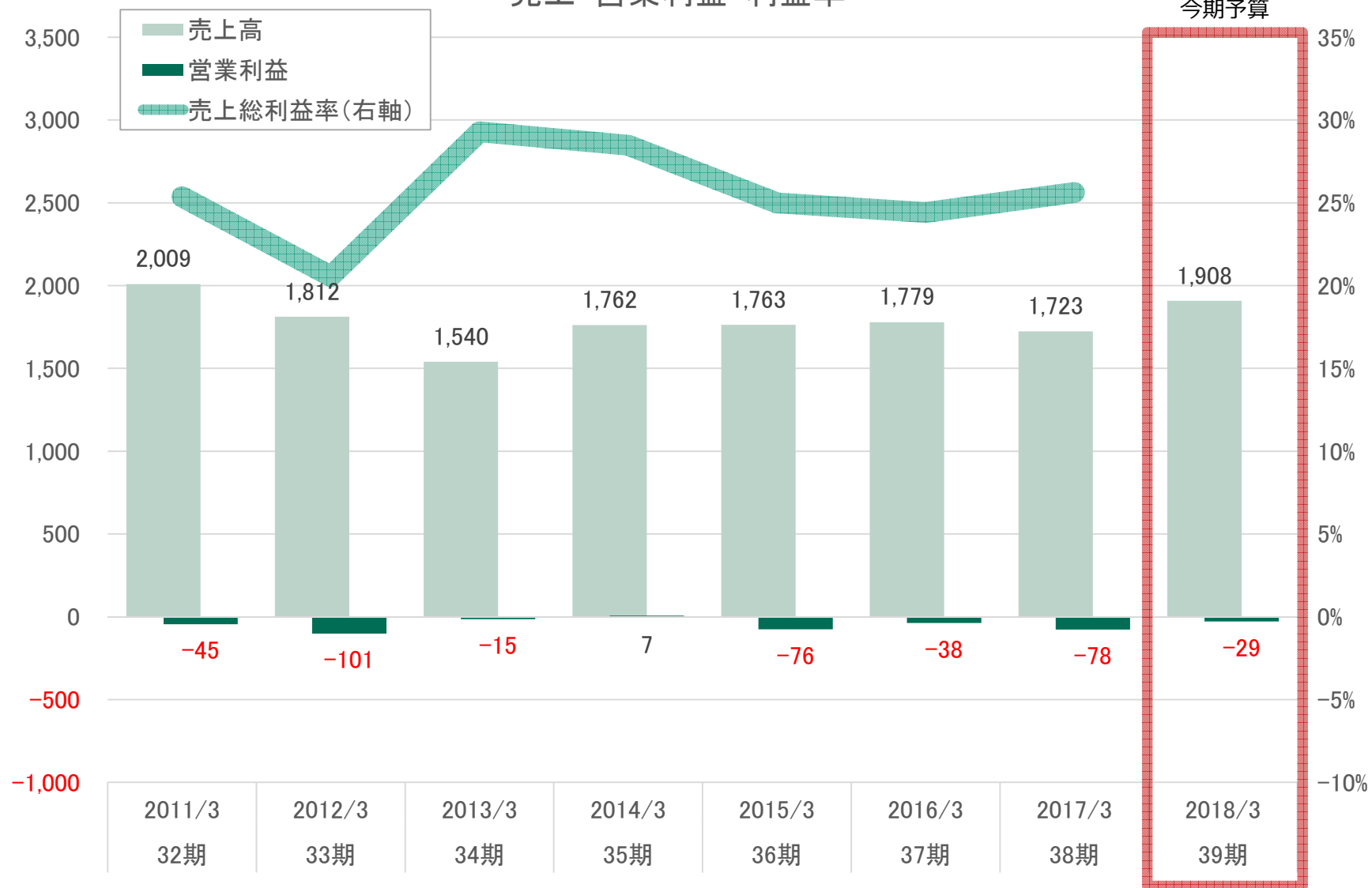
(3) セグメント別売上シェア推移



(4) ナビタス単体業績推移

単位：百万円

売上・営業利益・利益率



(5) 過去7年間の振り返り

1. グループ売上は、2011年3月期32.5億円をボトムに、微増傾向だが、近年は40億円を挟み停滞。
2. ナビタス単体売上は、2013年3月期15.4億円がボトム。それ以降、17-18億円程度の横這い傾向。
3. インモールド転写売上（NIS：ナビタスインモールドディングソリューションズ）
 - 2013年3月期までの装置・商品部門の落込みをカバー。
 - 2016年3月期の減収要因は、アミューズメント業界の落込みの影響。
 - 出荷台数は少ないが、極めて付加価値の高い製造装置であり、一度、納品されると、その後のフィルムの売上は大きい。
4. 検査機事業売上（NVS：ナビタスビジョンソリューション）
 - 2012年3月期設立直後から検査機事業によりグループ全体をカバー。
 - 現在、グループ全体の1/4程度の売上シェア。

Ⅲ.中期経営計画

(1) 中期経営計画 – 数値目標

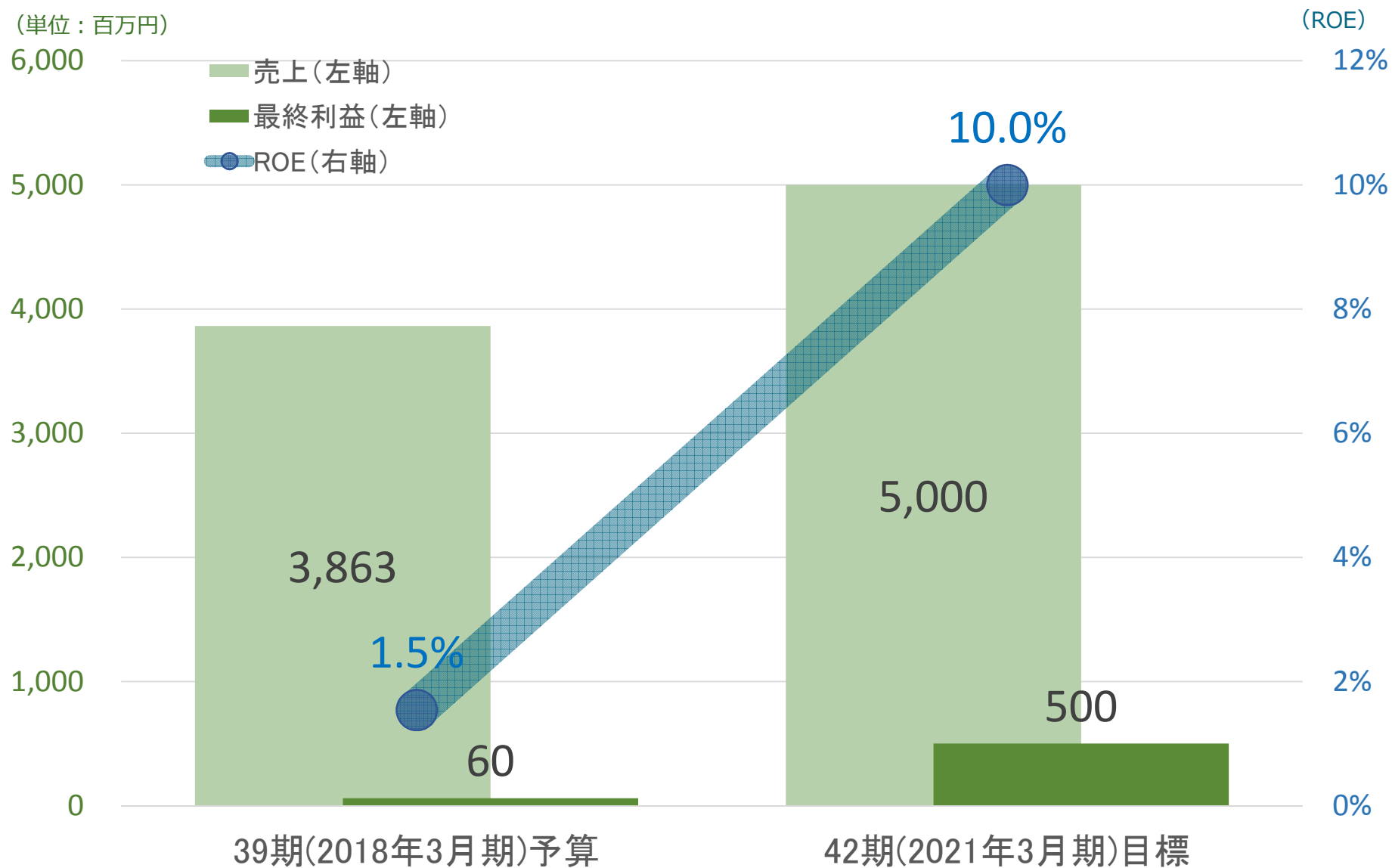
第42期(2021年3月期)の目標

1. グループ売上・・・50億円
 - 2018年3月期から年率10%の成長を目指す

2. 最終利益・・・5億円
 - 2018年3月期から10倍の水準を目指す

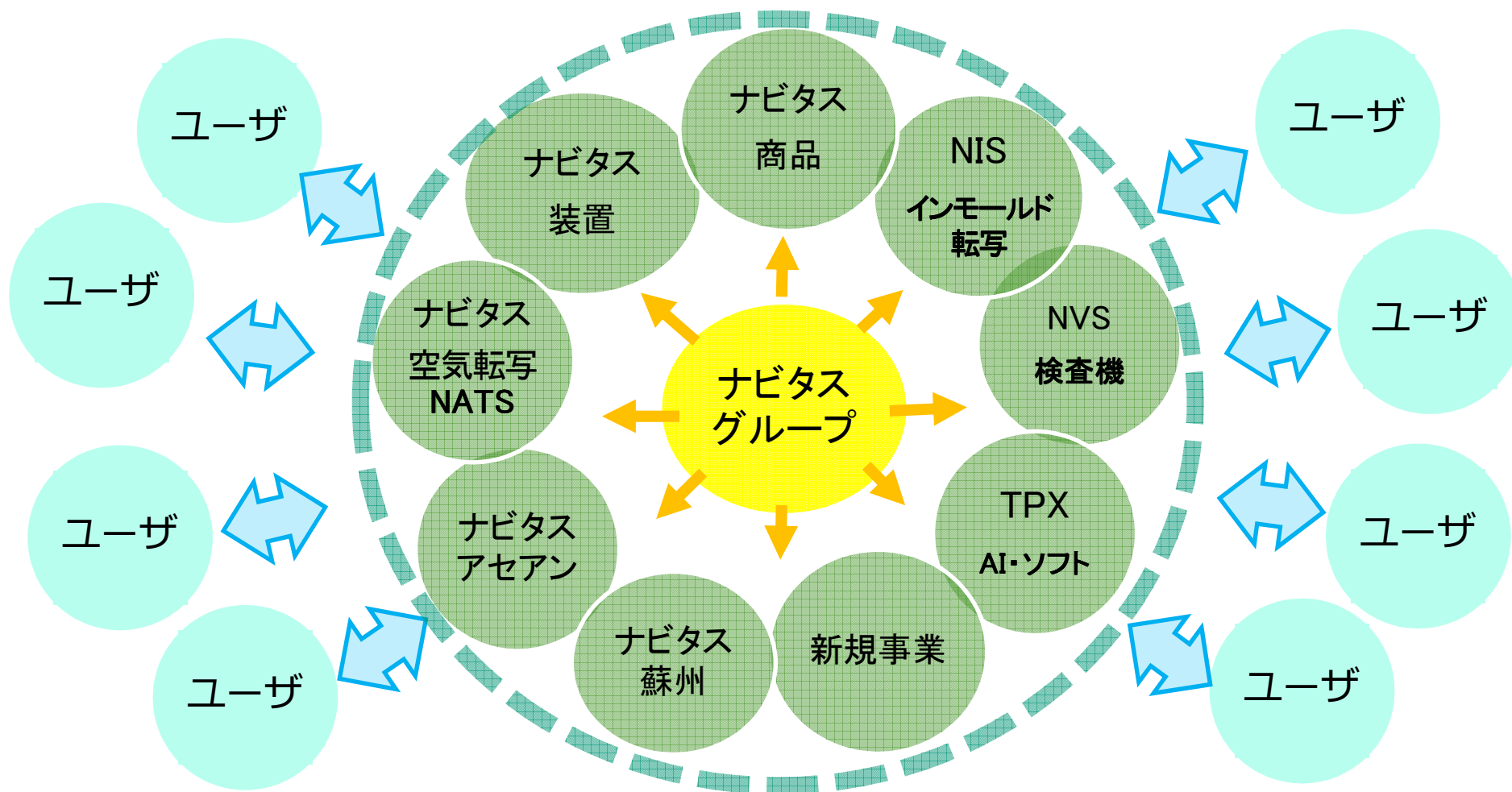
3. ROE・・・10%
 - EPS (一株利益) 80円超を目指す
 - BPS (一株純資産) 800円超を目指す

(2) 売上・利益・ROE計画



(3) 中期経営計画 – 組織構想

2020年に向けナビタスグループ構想



(4) 中期経営計画 - 海外戦略

1. 基本方針

- 海外拠点は、技術商社としての機能に選択と集中。

2. 中国

- 自動車会社向け製品に注力
- 現地化の進展

3. アセアン

- アセアン一帯を見渡したマーケット戦略の展開
- 手離れの良いユニット、パッケージ製品の販売
- 技術商社として少数精鋭の高収益化

(5) 中期経営計画 – 戦略子会社

ソフトウェアR&D会社の設立

1. 背景と課題

- 検査ソフトウェアは、海外メーカーが台頭
- 装置依存のソフトウェア開発からの脱却には新たな枠組みが必要
- 人工知能・ディープラーニングなど新技術R&Dの遅れ

2. タクトピクセル：Taktpixel (TPX) の起業

- 最先端ソフトウェアの研究開発
- B2Cビジネスへの展開
- 若手経営者育成

IV.事業別戦略

(1) 装置事業 – ①市場分析

1.パッド印刷機

- 1977年パッド印刷機の製造・販売開始から40年を経過。
- 国内シェアは、5割程度あるが、海外勢を含む競合他社も多く、他の印刷方式が台頭している。
- パッド印刷自体をサービスとして展開する業者もあり、印刷コストの低下は、印刷機自体の価格も押し下げている。



2.ホットスタンプ機

- 当社、国内シェアは、5割程度であるが、インクジェットなどの他の印刷機に侵食されている。



3.インモールド転写機

- 海外・国内含め他社に圧倒され当社シェアは低い。



(1) 装置事業 – ②戦略

1. 組織改革

- 製販一体化
- 営業体制の再構築と販路拡充
- グループ企業連携の強化（ナビタスグループフェアの開催等）

2. 在庫の適正管理

3. 業界別対策の徹底

（例）

- 文具業界・・・装置需要は多いが、検査機による品質向上が鍵。
- 化粧品業界・・・ボトル需要旺盛。深耕開拓を強化。
- 雑貨業界・・・テーパー容器需要増。専用機バージョンアップを検討。
- 容器業界・・・スクリーン印刷需要多い。検査機連携を強化。

(2) 商品事業 – ①市場分析

1.シリコンパッド

- 国内市場シェア30%程度。



2.転写箔・フィルム販売

- 国内市場は、100億円以上。
- ホットスタンプ用、インモールド転写用、空気転写用のニーズ高い。



インモールド転写 (IMR)

写真・金属感等の繊細なデザインの加飾が可能。金型内にあらかじめ印刷されたフィルムを通し、成形と同時に製品表面に印刷インキ層を転写する成形同時転写方法。二次加工が不要で、高意匠性と工程数削減や歩止まり向上によりコストの面で大きなメリットを生み出す。成形品表面の硬度アップや摩耗性向上等の機能性も付与される。

(2) 商品事業 – ②戦略

1. シリコンパッド生産・受注

- 生産・出荷のミスマッチによる機会損失低減
- 新規パッドの開発
- 受注体制の強化

2. 転写箔販売

- 国内転写箔メーカーとのリレーション強化
- HOTスタンプ装置の販売向上

3. 営業体制

- ソフト技術（製品の使い方レクチャー、他社事例紹介）要員の育成
- 各サプライヤー及び代理店・商社との協調関係強化
- エンドユーザーとの連携強化

(3) 検査機事業 – 戦略

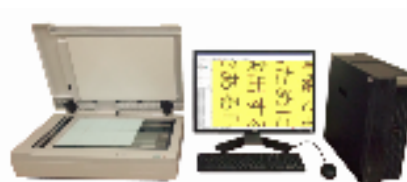
1. グループ内連携

- 組織連携
- 製造連携



2. 開発・販売基本方針

- 現場志向の検査システム開発販売継続
 - ラベル・カード検査機市場
 - プラスチックボトル印刷検査機市場
- 関連展示会に精力的出展と販促投資増
- 新市場への展開
 - グラビア検査機、ビジネスフォーム検査機、段ボール検査機
- 可変検査機市場向け製品への開発投資
 - デジタル印刷機メーカーとの連携



(4) 空気転写機 (NATS) 事業 – ①背景

1. 三次元フィルム加飾技術の進展

- フィルム表面に凹凸を付与し、デザイン性を向上
- シボ加工は、金型によりインモールド・水圧転写等で木目等の彩りを加えるが、手触り感に課題。



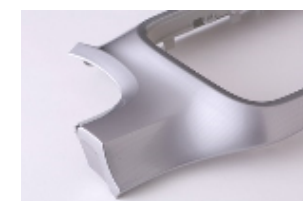
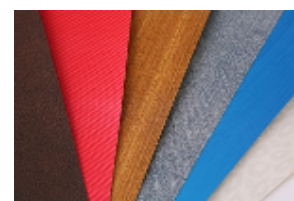
2. 市場ニーズの変化

- デザイン性の向上
- フィルムコストと工程コストの削減



3. 環境対応

- 塗装レスによるVOC排除
- 工程コスト削減によるCO2排出の低減
- 薄膜フィルムによる軽量化



シボ加工とは

動物の皮を鞣し（なめし）、揉んだり絞ったりすることでつく皺（しわ）などの文様を「シボ」といい、ここから派生し、金属やプラスチックの表面を薬品などに、化学腐食や成形金型により、皮革・木目・岩目・幾何学模様などをつける加工をいう。

(4) 空気転写機 (NATS) 事業 – ②キーワードは「環境」

1. 欧州主導 2021年規制の必達

- 2021年までに新車の二酸化炭素 (CO₂) 排出量を95g/km以下に。
- エンジン等の駆動部やパワートレインの効率化、車体等の軽量化必須。

2. 中国における改訂環境保護法施行

- 工場排出CO₂削減と、大気及び土壌汚染防止のための規制強化。

3. トヨタ環境チャレンジ2050

- CO₂ゼロへの挑戦を公表。
- 自動車走行時と材料・リサイクル工場等から発生するCO₂をゼロに。
- 製造工程や材料素材も見直し。



<http://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/environment/challenge2050/index.html>

V. 株式対策

株式対策

1. 流動性の向上

- 売買単元株数を1,000株単位から100株単位に変更し、個人投資家に購入しやすい株数とする。

(2017年12月4日実施)

2. 株主数の増加

- 立会外分売の実施により、個人株主数を増やす。

(2017年12月6日70,000株実施)

3. IRの実施

- 規則に則った決算発表や適時開示だけでなく、当社の強みを紹介する。
- 技術や製品の分かりやすい紹介をWEB上で行う。
- 売上・利益・ROEの数値目標を開示し、進捗状況を開示する。
- 経営理念や長期ビジョンなど経営者の考えを発信する。

以上